

永井雅彦

県政レポート 47

2022.7



常任委員会：福祉医療委員会委員長
特別委員会：新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会：アジア・アジアパラ競技大会調査
全トヨタ労連顧問

発行：永井雅彦事務所 〒448-8661 刈谷市昭和町1-1 TEL 0566-23-4366 FAX 0566-23-8688

国管理の矢作川から水をくみ上げる「明治用水頭首工」で5月17日、大規模な漏水が発生し一帯の農業用水、工業用水の供給が停止。東海農政局は豊田市内の「明治用水頭首工」に162台の仮設ポンプを設置し取水をはじめ、6月27日時点で毎秒13トン強の受水となり工業用水は75%程度、農業用水の利用も可能となったが抜本的な対策が急がれます。



漏水問題の抜本的対策を早期に求める!!



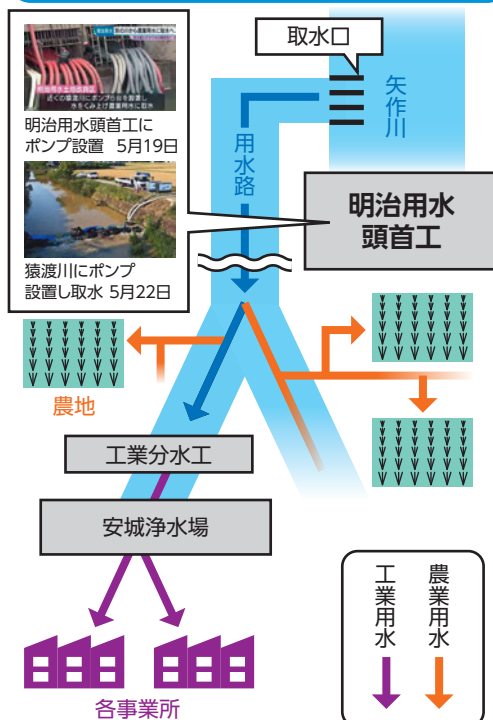
明治用水漏水 農工業に影響拡大



復旧見通し不透明

堰の川底に穴取水できず

明治用水からの取水のイメージ



- 東海農政局に対し新政あいち県議団として、早期の原因究明を行い抜本的な対策を求める緊急要望を実施。5月23日
- 大村知事が金子農林水産大臣へ直接、漏水事故対応に関する緊急要請。6月3日



自然取水へ仮設構造物

明治用水、2週間で建設

愛知県の矢作川から農業用水を取水する堰の施設「明治用水頭首工」で大規模な漏水が発生している問題で、施設を所管する東海農政局は十三日、七月末に用水の安定供給を図る。

自然取水へ仮設構造物

明治用水、2週間で建設

6月4日 中日新聞朝刊

明治用水漏水前の水量 来月末確保目指す

農政局

6月13日農政局は7月末に漏水前の水確保を目指す」と発表

令和4年6月定例県議会 明治用水頭首工漏水、物価高騰など取り巻く喫緊の課題へ手を打つ!!

主な議案 6月15日～7月4日の会期で6月定例県議会が開催され「新型コロナウイルス感染症対策」など一般会計補正予算はじめ条例関係を含め全てを可決承認しました。

補正予算の概要
169億9,000万円余



はじめに、明治用水頭首工の漏水に伴う、農業用水の取水機能を向上させ水を確保するための緊急対策を実施します。[金子農林水産大臣へ漏水事故対応に関する緊急要請。6月3日]
 次にコロナ禍における原油価格・物価高騰等への緊急対策として、福祉施設の車両や訪問診療に使用する車両の燃料費や民間保育所の給食費等を支援してまいります。
 新型コロナワクチンの4回目接種の実施に伴い、副反応に関する専門相談窓口の設置期間を延長し専門相談窓口についても充実します。また、ヤングケアラーの発見・把握から支援までを一貫した体制で取り組むモデル事業を実施してまいります。

明治用水頭首工の漏水に伴う農業用水確保など!! 予算 1,078,720千円

- 対象：土地改良区、市町
- 事業内容：
 - 〔緊急的な用水確保の取組〕
 - ・応急ポンプ等の設置・撤去、送水管の設置等に必要経費
 - ・用水確保に必要な機器の購入・借入の経費
 - ・応急ポンプ等の運転に必要な経費
 - 〔更なる用水確保の取組〕
 - ・新たな送水管設置のための基本設計費等
- 補助率：10/10



二級河川 猿渡川へポンプを設置し取水

新型コロナウイルス感染症に対応する医療提供体制の確保!! 予算 4,840,607千円

会場	曜日	開設時間	接種規模
名古屋空港ターミナルビル	月～木、日	正午～午後8時(8時間)	500人/日
	金、土、祝前日		700人/日
藤田医科大学	月～木、日	午後1時～午後8時(7時間)	500人/日
	金、土、祝前日		600人/日
愛知医科大学メディカルセンター	月～木	午後4時～午後8時(4時間)	200人/日
	金	午後1時～午後8時(7時間)	300人/日
	土	午前10時～午後7時(9時間)	500人/日
藤田医科大学岡崎医療センター	日	午前10時～午後3時(5時間)	300人/日
	月～木	午後5時～午後8時(3時間)	200人/日
	金	正午～午後8時(8時間)	500人/日
JA愛知厚生連安城更生病院	土、日	午前9時～午後5時(8時間)	500人/日
	土、日	午前9時～正午(3時間)	250人/日

- 1. 新型コロナウイルスの4回目接種
 - 接種体制の確保事業費・接種支援事業費
- 2. 高齢者施設等への感染症対策
 - 職員へのスクリーニング検査を実施
- 4回目接種に伴う副反応に関する相談窓口設置 [2023年3月31日まで]
 - 名古屋市内 4病院 名古屋市立大学病院など
 - 尾張地域 4病院 愛知医科大学病院など
 - 西三河地域 2病院 トヨタ記念病院、藤田医科大学、岡崎医療センター
 - 東三河地域 1病院 豊橋市民病院

ヤングケアラーとその家族を社会全体で支援を図る!! 予算 21,458千円

市町村モデル事業

身近な地域で効果的な支援が行われるよう、市町村にモデル事業を委託し、ヤングケアラーの発見・把握から支援までの一貫した支援体制の整備に取り組みます。

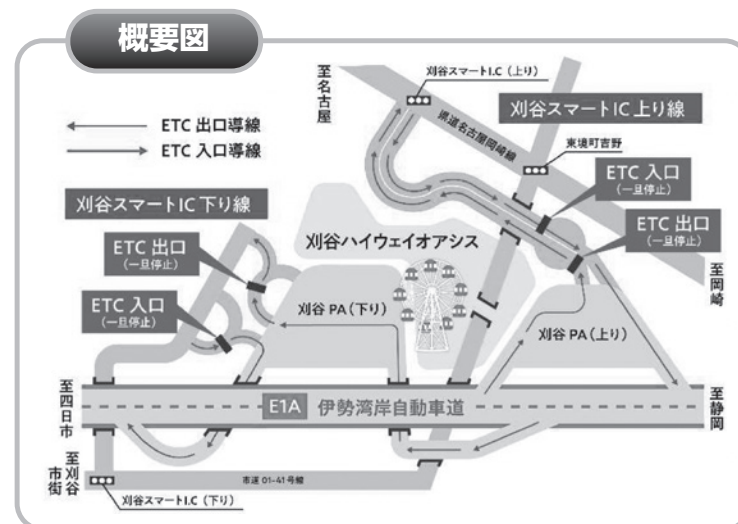
- ・委託数 3か所
- ・委託期間 2022年11月から2025年3月まで(3か年)



これまでの活動報告

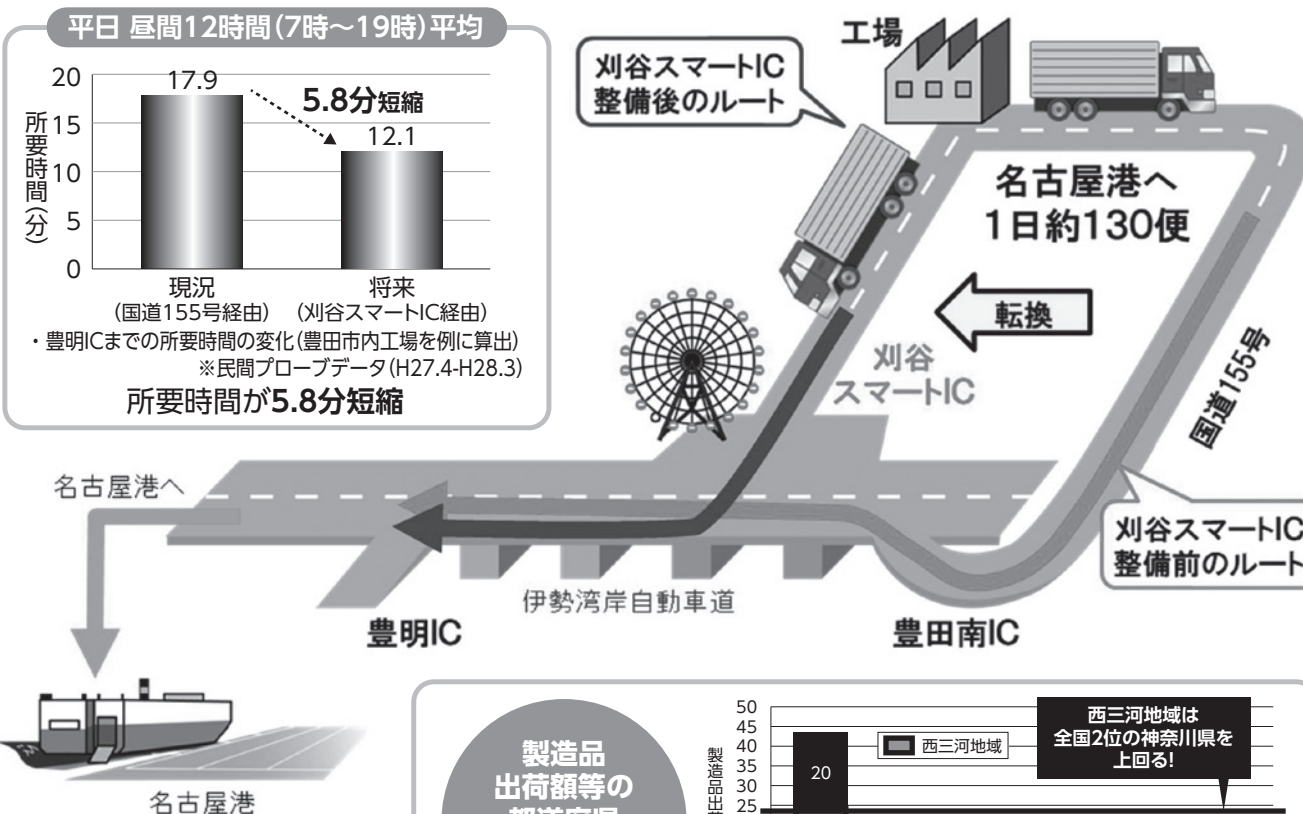
伊勢湾岸自動車の刈谷ハイウェイオアシスにスマートICが開通し、合わせて県道名古屋岡崎線の整備区間も開通いたしました。

自動車大手部品メーカーの本社や生産拠点、多様なサプライヤーが数多く立地する刈谷市ですが、「刈谷スマートIC」は、伊勢湾岸自動車道 豊田南ICから豊田IC間にある刈谷パーキングエリアに接続するインターチェンジです。スマートICの設置により「産業生産性の向上」「物流コストの削減」「交通渋滞の緩和」「周辺地域の活性化」などの整備効果が期待されています。

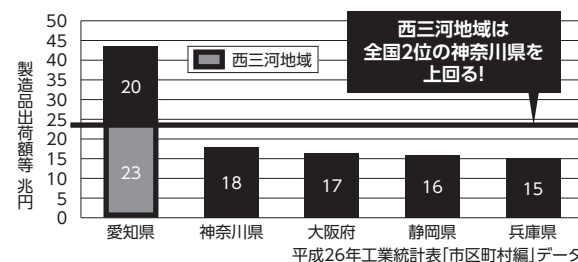


刈谷スマートIC 上り線

物流コストの削減 周辺工場の生産性が向上!!



製造品出荷額等の都道府県ランキング(平成26年)

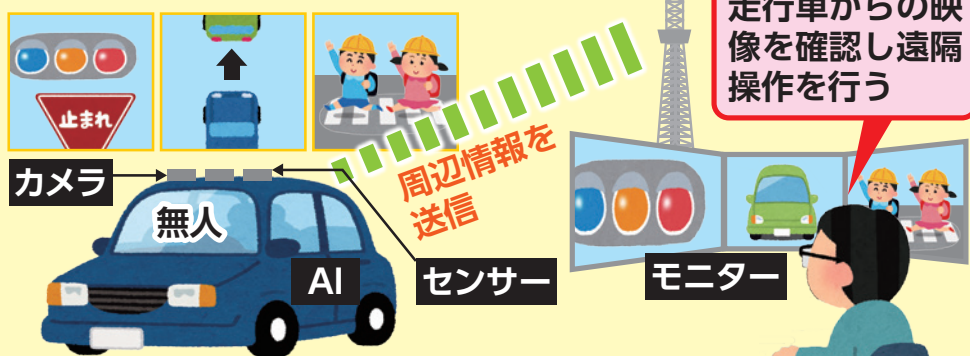




空港連絡道路(セントレアライン)で 秋頃に自動運転実証実験!!

令和4年度、中部国際空港と対岸のりんくう町を結ぶ空港連絡道路で秋頃に自動運転の実証実験を行います。磁気を車両が読み取り進む「磁気マーカー」方式で、空港周辺の自動運転を実用化する構想の実現に向け、小型バスを使用しデータの蓄積と課題の検証を進めてまいります。

●「レベル4」は完全自動運転のイメージ図



実験区域は、セントレア東IC-りんくうIC間の2.1キロと周辺の一般道路。走行時はハンドルやアクセル、ブレーキの操作を人工知能(AI)が制御するシステムに任せ、運転席に座る車内保安員が異常時に対応する。



空港連絡道路(セントレアライン)では、初めて時速60キロ以上の高速走行に臨み、降雨時や強風時の走行、高速で走る一般車両との混在、合流時の安全確保などを検証していく。

令和2年2月県議会の発言

Q

MaaSに対する愛知県の考え、安全で利便性・快適性の高い移動が可能となる社会実装をどう進めるのか。

A

MaaSに対する考え、社会実装の推進

MaaSとは交通手段の選択肢拡大やワンストップによるサービスの提供により、利用者の利便性向上や高齢者などの移動確保、交通事故減少、混雑緩和や環境負荷低減など様々な効果が期待できる。

MaaSの社会実装に向け、この春にも産学行政による新たな「MaaS推進会議」を立ち上げ、最新情報を共有し事業者間のデータ連携や料金設定等の課題研究や実証実験に向けた協議を行っていく。その上で、自動運転や超小型電気自動車を用いた新型輸送サービスの導入を含め愛知県独自の社会実装を目指していく。



私は令和2年の2月県議会場で、安全で安心でき利便性の高い、人とモノの移動に関する社会の仕組みを実現するため、愛知県独自の社会実装をはじめよう提案しています。

ご意見、ご要望をお寄せください。QRコードからホームページを是非ご覧ください。

発行：永井雅彦事務所

〒448-8661 刈谷市昭和町1-1
TEL 0566-23-4366 FAX 0566-23-8688
ホームページ: <http://www.giin-dnww.com/nagai/>

